

長崎県の美しいまちづくり

大村編

「オオムラザクラ」

をみなさんはご存知でしょうか。八重桜を二段に重ねたような独特の花で、花弁の数は多いもので二



大村市マスコットキャラクター
おむらんちゃん ©大村市

百枚に及び、その優美さはまるで十二単のようです。国指定天然記念物に指定されており、大村市のマスコットキャラクター「おむらんちゃん」のモデルにもなっています。



オオムラザクラ

初代大村藩主大村喜前（よしあき）が築いてより代々居城としてきた玖島城跡は、今では、オオムラザクラをはじめ多数の桜やツジ、花菖蒲などに彩られる大村公園として、大村市民はもちろん多くの観光客に親しまれています。

今回は、城下町として栄えてきた歴史あるまち、「大村」の中でも武家屋敷跡や石垣など歴史的な資産が今も数多く残されている「五小路（ごこうじ）」をご紹介します。



旧円融寺庭園



福山家五色塀(景資第2-11号)

五小路とは、玖島城下にある武家地の主要な五つの通りの総称で、本小路（ほんこうじ）、外浦小路（ほかうらこうじ）、小姓小路（こしょうこうじ）、上小路（うわこうじ）、草場小路（くさばこうじ）からなります。

最も北にある草場小路の見所は、五色塀（ごしきべい）という色とりどりの石を漆喰で塗り固めた大村藩独特の石塀の中でも最大の、福山家の五色塀です。秋には庭の紅葉とともに色彩豊かな表情を見せてくれます。

自然の斜面を築山に見立てた立体的な枯山水庭園である旧円融寺庭園を抜けて南に行く

されており、一際目立つ存在です。

更に本小路、小姓小路の多種多様な石垣を楽しみながら南に歩を進めると、中尾元締役旧宅



西川家住宅(景資第2-128)

があります。五色塀に囲まれた中にある寄棟造りの広大な屋敷は、保存状態も良く、歴史的景観を構成する貴重な要素となっています。この中尾元締役旧宅及び西川家住宅は、ともに大村市都市景観賞を受賞しています。



中尾家住宅(中尾元締役旧宅)
(景資第2-10号)

まだまだ紹介しきれない魅力ある歴史的建造物や史跡がこの地区にはたくさんあります。散策しながらまちなみを楽しんでいた